

平成17年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

ミナミトゲヘリカメムシ (かんきつ)

Paradasynus spinosus Hsiao



生態と被害

成虫は体長16～23mm、淡黄褐色で触覚は赤色を帯びる。幼虫は頭部及び胸部が黒色で、腹部は鮮やかな紅色である。成虫は5～11月頃までかんきつの樹上で見られるが、それ以外の時期にはタブノキ、ヤブニッケイ等のクスノキ科の植物に生息すると考えられる。成虫、幼虫共に果実を加害し落果や品質低下の原因となる。本県におけるかんきつ害虫のカメムシ類の中で最も被害が多く、特にシークワサーで問題となっている。

予報の見方

発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。

「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にして下さい。

平成18年2月28日

沖縄県病害虫防除所